

不祥事根絶に向けて

つくば市立島名小学校長 大西 秀重

学校教育は、児童、保護者及び地域の皆様の信用・信頼の上に成り立つものであり、教職員による不祥事は、その信用・信頼を失うことにつながることから、あってはならないことです。

そこで、本校では不祥事防止とコンプライアンスの確立及び児童、保護者、地域の信用・信頼を高めるための教職員の意識高揚と方策について、下記のように取り組んでおります。

記

1 校内研修の充実

不祥事根絶をテーマとした教職員の企画立案型の研修（ボトムアップ型研修）と管理職主導の研修（トップダウン型研修）を組み合わせ実施しています。

- ・校内コンプライアンス委員会を中心に年間の研修計画を立てて、不祥事根絶に向けた具体的な方策を話し合う機会を設けています。
- ・事例研修では、毎月一事例（テーマ）を設定し、全職員で研修を実施しています。
○不適切な指導 ○体罰 ○飲酒運転 ○わいせつ行為 ○セクハラ ○交通違反
○データ漏洩 ○個人情報の取扱 ○学校徴収金の不適切な処理

2 「自分ごと」として捉えることができるよう事例などの確認と共有

不祥事関連の通知文や新聞記事などを利用し、様々な事例を教職員全体で共有しています。

- ・不祥事の内容と対象教職員の処分内容などについて県教委や市教委からの通知文や新聞やインターネットなどの記事を職員に配付し、熟読した後「自分の考え」を記述しています。
- ・教職員の不祥事が自校で発生した場合のリスクなどを考える研修を行い、具体的な防止策を話し合っています。

3 定期的な確認と自己点検

不祥事防止のためのチェックリストを作成し、全職員で定期的に点検をしています。

- ・自分の行動や意識に問題はないかなどを自分自身で把握することが重要であると考え、教職員が自分自身で行うチェックリストを活用した点検を定期的に行っています。

4 教職員への支援

管理職による教職員との個人面談を重視し、不安や悩みなどを解決するための支援を行っています。

- ・悩みを一人で抱え込まない、教職員同士が気軽に話し合える・相談し合える同僚性の高い職場環境づくりに努めています。
- ・教職員のストレスや個人的な悩みが不祥事の要因になりえることをふまえ、日常の面談や教員評価面談などの機会を通して、管理職が教職員全員とコミュニケーションをとりながら、悩みごとの相談にのったり、解決法を助言したりするなど、きめ細かに教職員を支援していきます。

5 学校の信用・信頼を高める取組

教職員の人権意識高揚のために、定期的に研修や意識確認を行っています。

- ・信用や信頼を高めるために、児童の人権を尊重した教育を推進し、児童一人ひとりを生かす教育環境づくりに努めてまいります。
- ・PTA役員会、コミュニティ・スクール推進会議など、地域の方々と連携を図りながら、コンプライアンス推進の取組を進めていきます。

島名小学校は、教職員一人一人がコンプライアンス意識を高め、不祥事ゼロに向けて取り組んでまいります。